令和５年度 都川水の里公園・稲作体験講座【第２回】ＨＰ原稿

第２回の活動は、「田の作業」「畑の作業」「田んぼの話」「看板づくり」と盛りだくさん。
今回は、１１組３７人の受講者の参加がありました。台風の接近による大雨も前日午前中には上がり、当日は曇り時々晴れ、気温２３～２５度とあまり暑くはありませんでしたが、熱中症に注意しながら作業を行いました。

１　田植えが当初の予定より１週間遅くなったこともあり、昨年と比べて稲苗の生育は昨年よりやや遅れているようです。また、ところどころ苗が欠損している所が見受けられたので、補植用の苗を植えました。

２　参加者は、田の中に入って草取りをする人、畦の草刈りをする人に分かれて作業を行いました。田の中には、オモダカ、コナギ、セリ、ミゾソバ等の水田雑草が生えており、草を根から手で抜いて泥の中に埋め込みます。田植えのときより水温は高く、生ぬるい感じがしました。また、中耕除草機（田車）や鋤簾など昔ながらの除草道具を用いた除草も体験しました。稲株間で田車を押しながら進むのは結構力がいるので子どもには大変なようでした。

３　畦には、キシュウスズメノヒエなどの雑草が繁茂しており、鎌で根元から刈り取ります。
１時間ほど田の除草や畦の草刈作業を行い、田の中も畦もきれいになりました。

２　畑の作業は、サツマイモの苗の植え付けです。芋苗（紅はるか）の苗を３０センチ間隔で畝の上に置いていきます。山岸先生から芋苗の植え方を教わり、子どもたちが苗を植えました。植え方は、芋の数がいちばん多くなる「水平植え」です。

サツマイモは、苗を植えてから１００～１２０日後に収穫できるので、１０月の収穫祭では芋を収穫して焼き芋を作る予定です。

３　畑の作業の後は、体験棟でミニ講座「田んぼの話」です。テーマは、「イネを雑草から守る～田んぼの水の働き」。世界のお米、地下水、田んぼに水をためるのはなぜ、イネが田んぼで元気に育つわけ、２つのイネなどについて、NPO 法人バランス２１代表斎藤幸一氏が作成したスライド資料により、わかりやすく説明しました。

４　田んぼの話の後は、３班に分かれて子どもたちによる田んぼに建てる看板づくりです。田んぼの名前を考える人、看板に名前を書く人、看板に田んぼや生き物の絵を描く人など役割分担し、皆で協力して１つの看板を作りあげました。作った看板を田んぼに運んで建て、看板を囲んで記念撮影しました。